

あとがき

県内各地に残された災害復旧記念碑や災害遺構など災害歴史遺産の調査を始めて十年余りになる。この間、県内すべての市町のほか、関連するものについては隣県の調査も行った。しかし、これですべての災害歴史遺産を調査し終えたとは考えていない。調査が足らずに確認出来なかったものがあるだろうし、何かしら過去の災害と関連しているのではないかと思えるものの、碑文が判読出来なかつたり、資料が見つからない等の理由で掲載を見送ったものもある。また、当時の災害を経験した、いわば本来の語り部の方々から、碑等にまつわる生の声を聴き収録することが出来なかつた。その点が特に心残りとなっている。

今回、本書を製作するにあたって改めて現地を調査したところ、前回調査からそれほど経過していないにも関わらず、周囲の状況も大きく変わり、また、当時に比べ碑文が一層判読困難になっているものや、碑そのものが撤去されたところさえあった。今後ますますこうした事例が増えるだろうと思われる。そうなる前に不十分ながら記録を残せたことで本書の目的をある程度果たすことが出来たのではないかと思っている。

最後に、本書の発刊にあたり一般社団法人北部九州河川利用協会及び一般社団法人九州地域づくり協会並びに国土交通省九州地方整備局武雄河川事務所には格別のご支援を頂いた。心からお礼を申し上げたい。

沈黙の語り部たち ～佐賀の災害歴史遺産調査報告～

令和6年 3月1日 発行

令和6年11月1日 発行

発行者 災害歴史を学ぶ会

〒846-0007 佐賀県多久市北多久町メイプルタウン13-11

編集 「沈黙の語り部たち」編集委員会

調査・執筆 災害歴史を学ぶ会 本山 和文

印刷 株式会社イシダ印刷 大阪府大阪市都島区都島本通1-2-11

「沈黙の語り部たち ～佐賀の災害歴史遺産調査報告～」は、北部九州河川利用協会の令和6年度河川利用推進支援事業及び九州地域づくり協会の令和6年度公益目的支援事業の助成を受け製作されました。